



米商進路だより

令和3年10月26日発行
山形県立米沢商業高等学校
進路指導部（第19号）

《 ワクワクワーク（キッザニア米商） 》

先週行われた鶴城祭では、限られた時間を有効に活用し、試行錯誤を繰り返しながら本番を迎えたと思います。どのクラスも自分たちのアイディアを形にして発表してくれました。特に、3年生の「ダンス」と「クラス企画」の発表は創造力や発想力に優れ、鶴城祭の歴史と伝統を受け継いだ発表を見ることができ、安堵感に包まれたと言っても過言ではありません。大変お疲れ様でした。

さて、令和3年11月11日（木）に実施される本校のワクワクワークに参加する企業が下記のとおり決定いたしました。番号に○がついている企業は、先日の「置賜の企業を知る」地域学習にも参加をいただきましたが、今回も参加をしていただけることになりました。今度は、企業の仕事を体験して、自分の興味関心を更に高めることがねらいです。高校卒業後に働く姿をイメージしてみてください。

なお、業種については分かりやすく記載をしていますが、就職希望者は企業名と体験する仕事の内容を一致しなければ意味がありません。まだ働くことをイメージできない人がいるのかもしれませんが、仕事を体験することで「働くこと」を体得できると確信しています。また、会社の雰囲気を感じることで、卒業後にお世話になるかもしれないことを念頭に参加することは大切なことだと考えています。

NO	会社名	業種
1	(特養)おいたまの郷（(社福)敬友会）	特別養護老人ホーム
②	ゼオンケミカルズ米沢(株)	合成香料等製造・開発
③	A G Cディスプレイグラス米沢(株)	フラットパネルディスプレイ用ガラス基板製造
④	サクサテクノ(株)	電気機器製造業
5	(株)山形銀行	銀行
6	(株)テイクオフ	介護福祉
7	(株)マツキ マツキドライビングスクール	運転免許教習・重機技能講習・ドローン教習
8	(株)ニューテックシンセイ	電気機械器具及び木製玩具製造業
9	自衛隊 山形地方協力本部米沢地域事務所	自衛隊
10	(株)マイ・コンピュータ・ソフト	業務用ソフトウェア開発
⑪	(株)エフ・シー・エス	携帯電話販売
12	山形食品(株)	食品加工製造業
13	(株)ノモト マクドナルド	サービス
14	(株)武蔵屋	サービス（仏壇・仏具販売等）
15	(医)舟山病院	病院
16	美容組合米沢支部（カットサロンSWING）	美容
17	興道南部保育園（(社福)米沢仏教興道会）	保育園
18	(株)松島屋菓子店	菓子店
19	彌満和製作所(株)	ねじ切り工具製造



《 第5回 1・2年生 進路達成へのアドバイス(本校教職員から) 》

学生時代に勉強した記憶は殆どありません。勉強以外のことには熱心でしたが、勉強が嫌いだったのです。よって「行きたい学校」ではなく「入れる学校」を選んできました。ただ、青春ドラマを見て教員になりたいというボヤっとした夢だけはずっとあり、それに少しでも近づける「入れる学校」を選んできました。そして教育実習で稲妻が走り、教員採用試験を4回受けて教員になりました。4回目は生まれて初めて本気で勉強した気がします。教育実習の後は「偶然」と「奇跡」の繰り返しで教員になることができた気がします。ボヤっとでも夢を持ち続けることは大切です。大切なのはその夢を離さないこと。誰に反対されようと夢を持ち続ければ必ず叶うと今までの体験から自信を持って言えます。今は勉強することは自分の進路選択の幅や可能性を広げることだと分かります。

大切な時に自分に言い聞かせる言葉があります「自分を信じろ。自分の夢を信じろ」。皆さんも自分を信じ自分の夢を信じて進路を決定してください！（I先生）

将来の職業や生き方を「進路」というのであれば、進路を決定する「切っ掛け」はいろいろな形で存在していると思います。教師という職業を選択した私の「切っ掛け」は、学園ドラマでした。幼少期から見ていた学園ドラマの先生と生徒は、みんな生き生きとしていました。時には悲しみに涙したり、争ったりする場面もありましたが、みんな元気で楽しそうでした。学校を舞台に繰り広げられる先生と生徒の様々なエピソードには、何か「熱いもの」が感じられました。今思えば、この「熱いもの」に惹かれてしまったのかもしれない。気づいた時には、自分自身が生徒から「先生」になっていました。本当の「進路」とは考えて決まるものではなく、多くの偶然の出会いから必然的に決まるものなのかもしれません。皆さんもいろいろな体験の中から「切っ掛け」を見つけてください。（K先生）

私の高校時代の将来の夢は大きく分けると三つありました。

一つは、「就職してバリバリ働いて、お金をたくさん稼ぎたい。」

二つは、「世界中の大陸を自転車で周り、冒険家になりたい。」

三つは、「飛込選手として活躍し、日本チャンピオンになりたい。」

現実的なものから夢物語的なものまで幅広いのですが、ワクワクしながら自分の将来を考えていました。だって、どの道に進んでも楽しそうだから。どの道も捨てがたかったのですが、その時の自分の気持ちや環境などをよく考えて、日本チャンピオンを目指して大学に進学することに決めました。（F先生）

親から公務員を勧められ、将来の夢や興味のある分野なども何もなかった私は勧められるままにとりあえず公務員を志望していました。3年生になり本格的に進路を考えたとき、部活の同級生全員が進学だったため私だけ働くのが嫌で進学を選びました。

進学でも大学へ行く場合スポーツ推薦で行くしかなく、4年間も耐えられる気がしなかったため1年間の専門学校へ進学しました。

周りに流され、問題をよく考えず逃げることで進路決定したため自分自身で色々な可能性をつぶしたように思います。1年生の段階から先の事と考えず自分の将来をイメージしてみるのはいかがでしょうか。（A先生）